

# 第3次 上尾市市民活動推進計画

＜別冊資料：アンケート集計＞



2019年3月

上尾市

## 別冊資料：アンケート集計

### 目 次

○市民活動に関するアンケート調査結果 （活動登録団体用）	2
1. 調査の目的と概要	2
2. 登録団体について	2
3. 活動のPRについて	5
4. 活動の資金について	6
5. 活動の課題について	6
6. 協働について	8
7. 今後の計画への要望について	11
○市民活動に関するアンケート調査結果 （一般市民用）	14
1. 調査の目的と概要	14
2. 回答者の属性について	14
3. 市民活動について	16
<b>資料編</b>	
○市民活動に関するアンケート調査票（活動団体用）	
市民活動に関するアンケート調査へのご協力のお願	24
アンケート調査表	25
○市民活動に関するアンケート調査票（一般市民用）	
市民活動に関するアンケート調査へのご協力のお願	31
アンケート調査表	32

# 市民活動に関するアンケート調査結果（活動登録団体用）

## 1. 調査の目的と概要

市民活動支援センターでは、第3次上尾市市民活動推進計画（H31年度～H35年度）の策定にあたり、登録している市民活動団体の現状と要望を把握し、計画に反映させることを目的として、平成30年2月に本アンケートを実施した。

アンケートは、平成29年12月末現在、センターに登録をしている194団体のうち継続的に活動をしている138団体を調査対象として郵送によるアンケート調査を行い99団体から回答を得た。回答率は71.7%である。

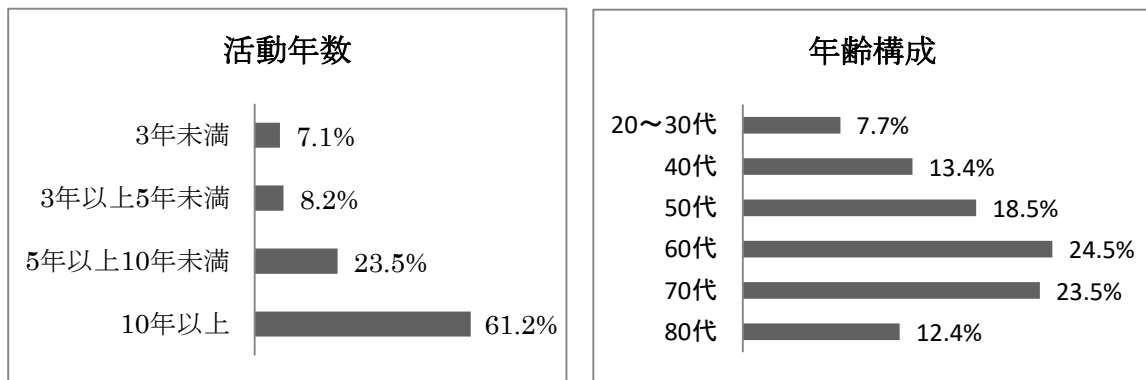
協働に関する設問や、どんなことをきっかけに市民活動・地域活動を始めたかなどを調査したもので、アンケート結果は今後の協働のまちづくり推進事業、地域活動支援事業などに活かしていくものとする。

## 2. 登録団体について

市民活動支援センターに登録している団体数は、平成29年度12月末で194団体である。センター開設当初の平成24年度と比較すると69団体増えている。アンケート対象とした138団体の平均会員数は、一団体約80人であったが、団体の活動内容によって会員数には偏りが見られる。

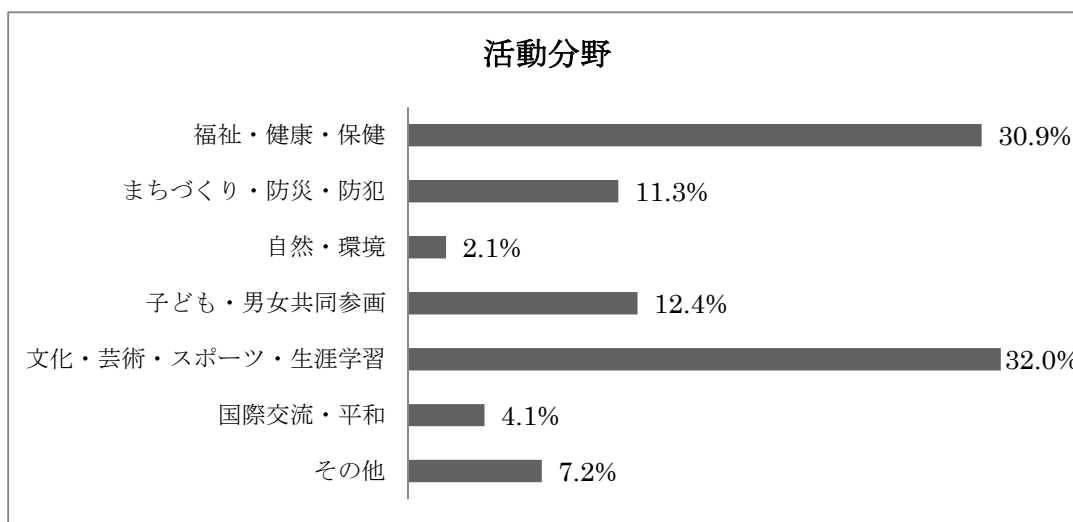
### （1）活動年数と会員年齢構成（問2から問4）

活動年数は10年以上が最も多く、次いで5年以上10年未満となっている。平均年齢は68.3歳であるが、年齢構成をみると60代・70代が占める割合が多く、80代も37.8%を占めている。特に活動年数が10年を超える団体は、会員の高齢化が見られるが、退職後の市民活動への参加意向の強さがうかがえる。



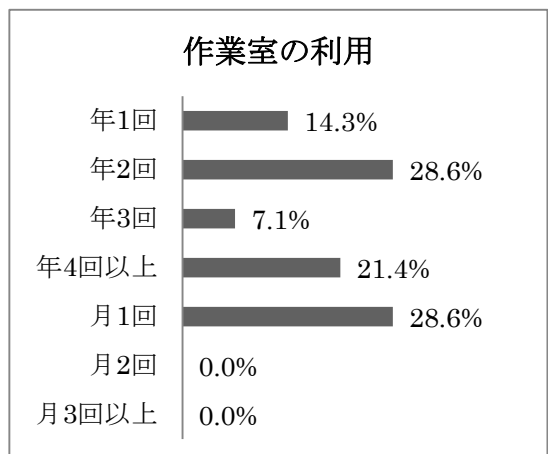
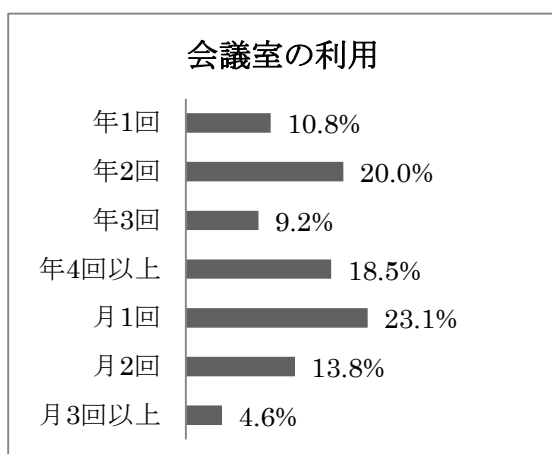
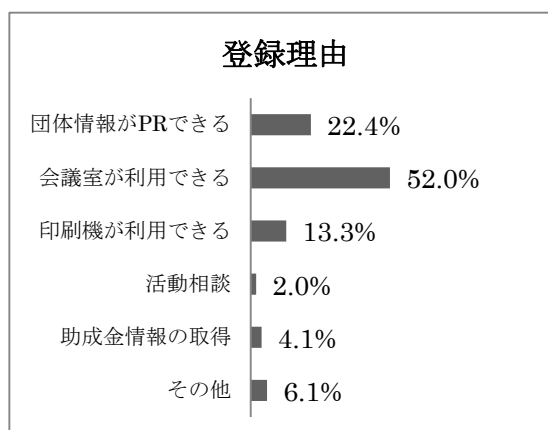
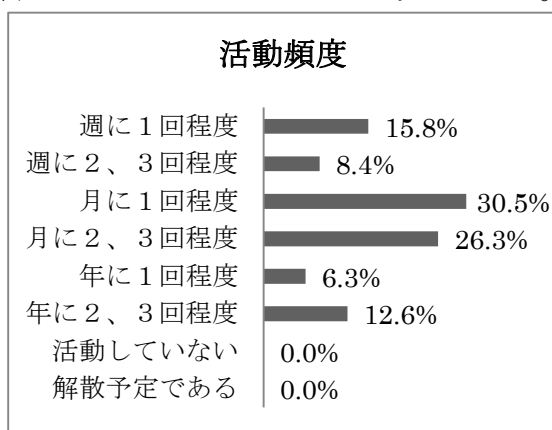
### （2）主たる活動分野（問5）

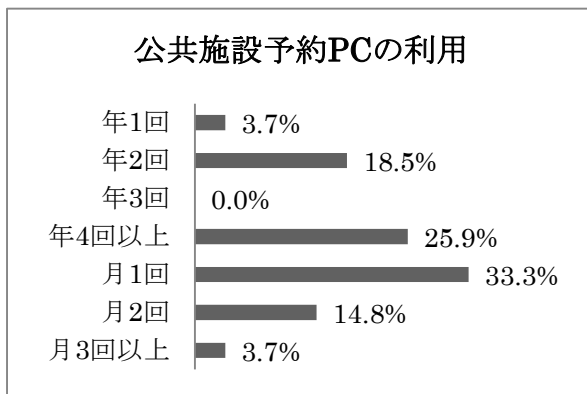
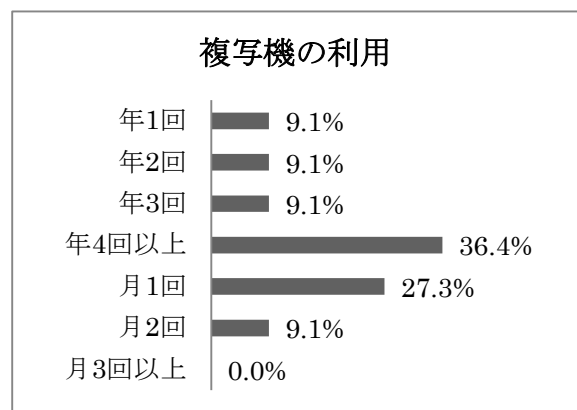
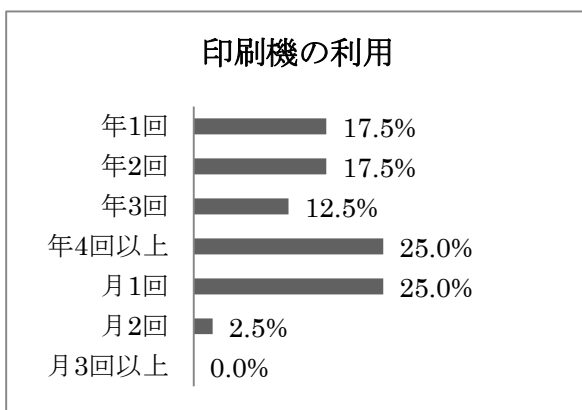
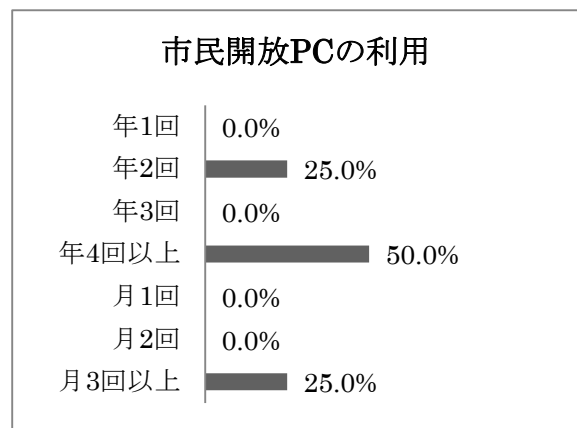
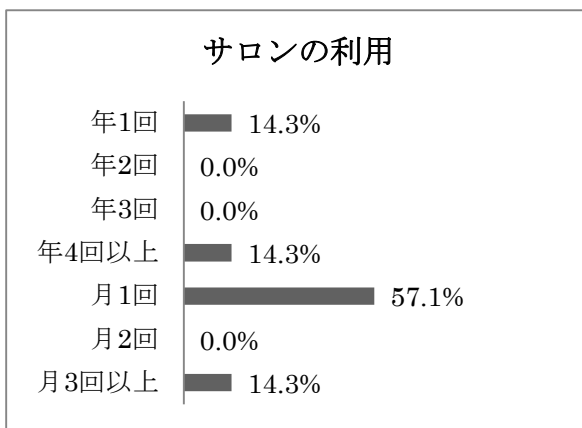
一番多い分野は「文化・芸術・スポーツ・生涯学習」、続いて「福祉・健康保健」であった。これは市民活動支援センター開設後の平成24年度から5年間変わらない順位となっている。



### (3) 活動頻度 (問7から問9)

会議、イベント、その準備を含んだ活動頻度は、月に1回程度が最も多く、次いで月に2+、3回の利用が多い。支援センターに団体登録をした一番の理由としては、「会議室が利用できる」が最も多い。「市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動」を支援するために設立したセンターの目的から、会議室の利用料金を無料としていることが理由と考えられる。





(4) 市民活動・地域活動を始めたきっかけ (問 11 の自由回答をまとめたもの)

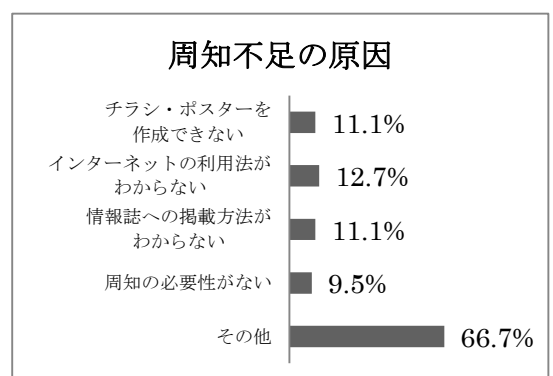
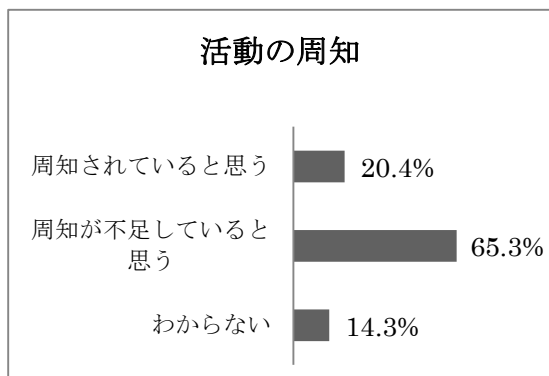
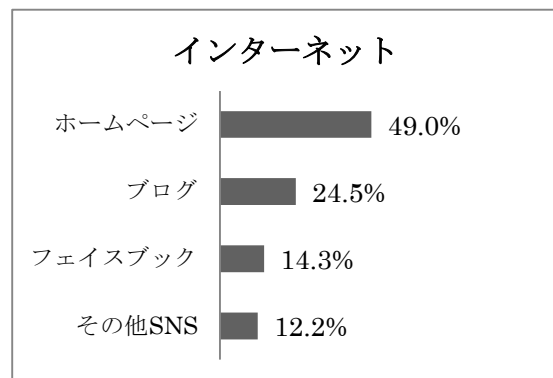
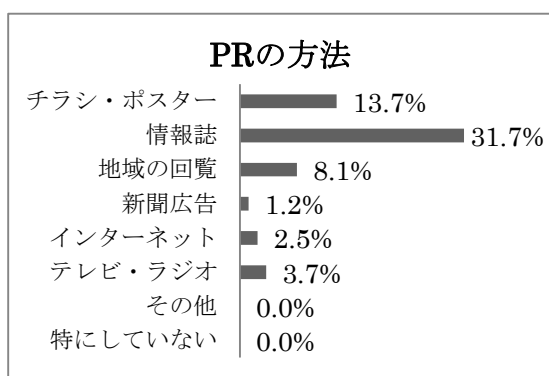
- ・ あげお祭りや市との協働事業
- ・ 知人がいたから
- ・ サークル活動参加、公民館などの講座を受講したことから
- ・ 地域の外国人に日本語を教えたいと思った
- ・ 先輩が活動していたのを引き継いだ
- ・ なんとなく
- ・ 子どもや初孫など家族がきっかけ
- ・ 退職後の生きがいとして

- ・同じ環境にある市民と情報を共有し生活の一助にしたい
- ・何かを学びながら友人を作りたい
- ・地域の人との交流のため
- ・興味があったから
- ・自分でやってきた書道を地域で障がい児者にボランティアしたいと思った
- ・地域の人々と交流
- ・役員になる人がいなく、何かと頼むと言われたため
- ・東日本大震災がきっかけ
- ・貧困家庭の子どもに接し、支援が必要であると考えたため
- ・趣味をいかしたい、経験などを地域に還元したい
- ・コミュニティ作りをしたいと思った
- ・同じ志を持っている人と出会ったこと
- ・少し暇になったから

### 3. 活動のPRについて（複数回答）（問12から問14）

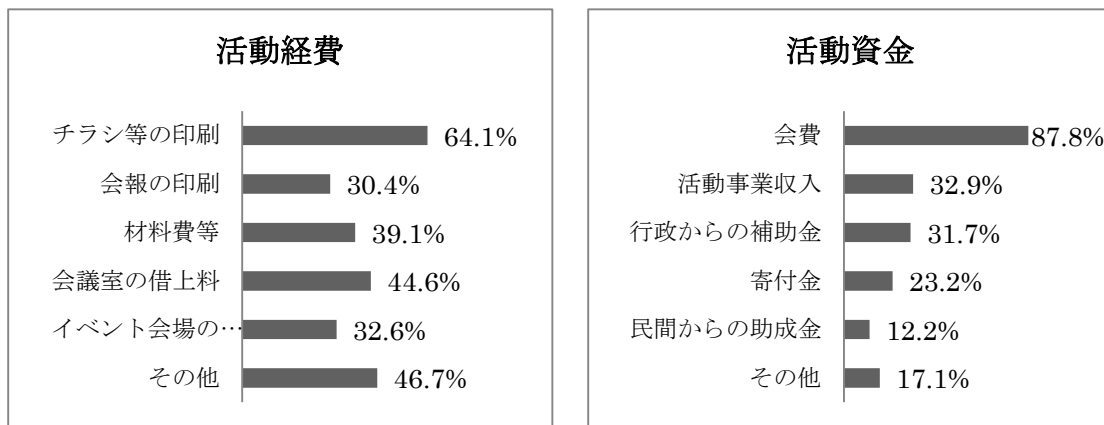
チラシや情報誌を利用した紙媒体のPR方法を活用している団体が多いが、インターネットで団体のホームページを作成し活動情報を発信する他、最近はツイッターやインスタグラムを利用する団体もある。

団体の存在や活動内容が市民に周知されていないと感じている団体は、インターネットの使用法がわからないことが一因となっていることがうかがえる。



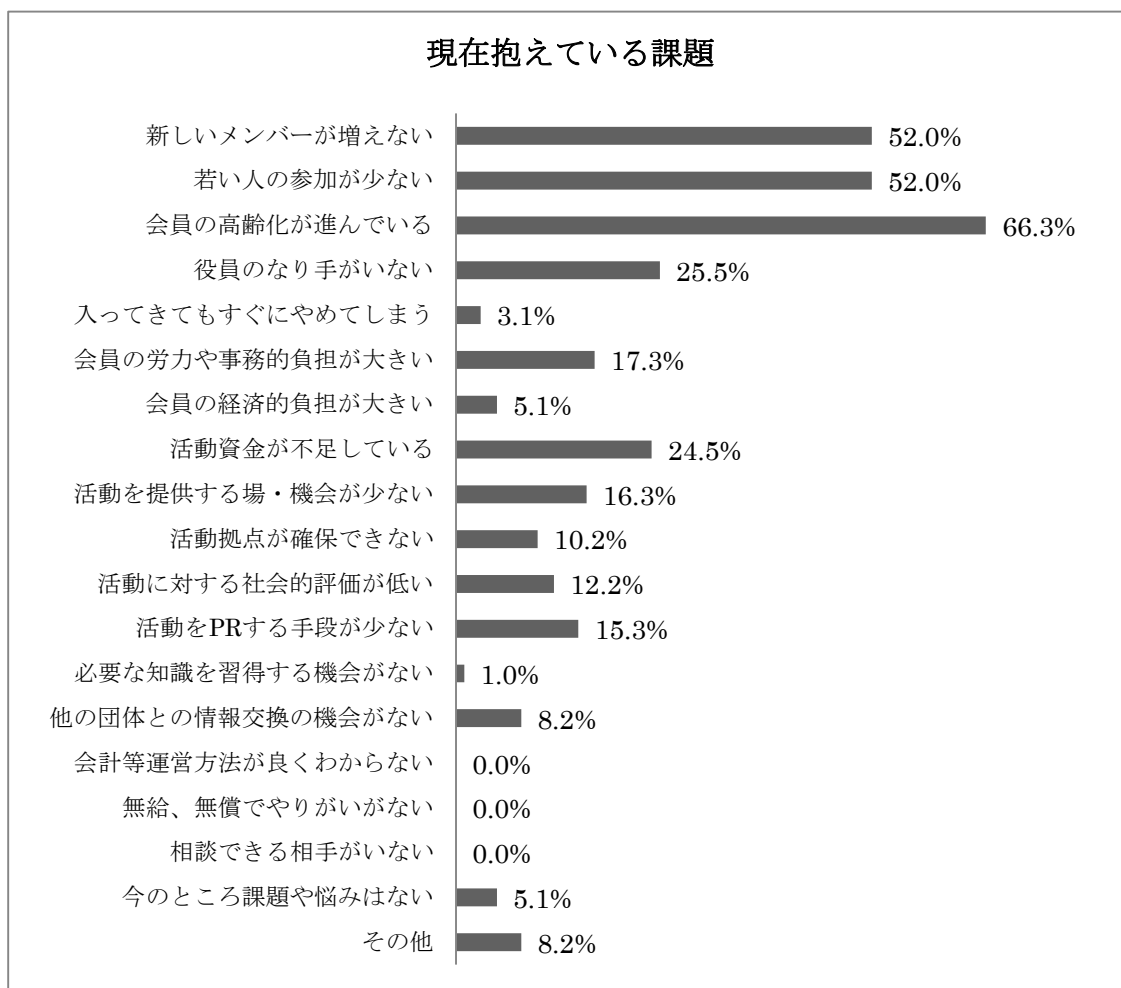
#### 4. 活動の資金について（複数回答）（問 17 と問 16）

主な活動経費は「チラシ等の印刷代」、「会議室の借上料」が多く、活動資金は「会費」で賄っている団体が多い。その他として、「代表者の負担」、「目録等の企業広告」がある。



#### 5. 活動の課題について（複数回答）（問 18）

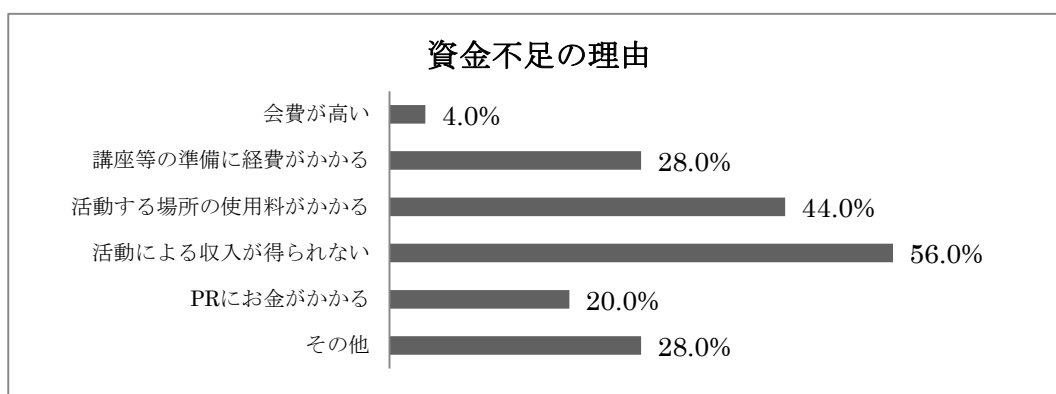
(1) 現在抱えている課題として、「新しいメンバーが増えない」、「会員の高齢化が進んでいる」、「若い人の参加が少ない」が大きな課題となっている。



(2) 現在抱えている課題を解決するために考えられること（問 19 の自由回答をまとめたもの）

- ・企業や地域住民への PR、行政による PR イベント
- ・事業補助金、助成金の情報収集と活用
- ・会員が自分たちで PR、活動の場を増やすため連携協働
- ・会計業務を会員以外に担ってもらう
- ・若い方達への働きかけが必要
- ・募集チラシや会員募集誌を発行していく
- ・会員の活躍できる場の拡大、活動拠点を積極的に探す
- ・活動の理解者を増やす、周知方法の切り替える
- ・会員同士の交流や会の活動を発表する機会を増やす
- ・賛同者をつのり賛同金を集めるなど事業収入以外の収入を確保
- ・他団体の活動を支援するなど自主事業以外での活動を増やす
- ・行政との協働
- ・広報に載せる機会を増やす
- ・趣味の会意識の脱却
- ・市生涯学習課での講座の開催
- ・助成金情報の取得に努めること
- ・とにかく活動し続ける
- ・魅力的な行事、魅力ある活動をする努力
- ・自分たちが活動をねばり強く、自主的にそして地道に取り組んでいく
- ・会の目的や活動内容について会員相互で話し合う
- ・各種イベントに積極的に参加、イベントの自主企画
- ・活動日の変更
- ・対策が無いので悩んでいる
- ・入会募集を案内する手段がわからない

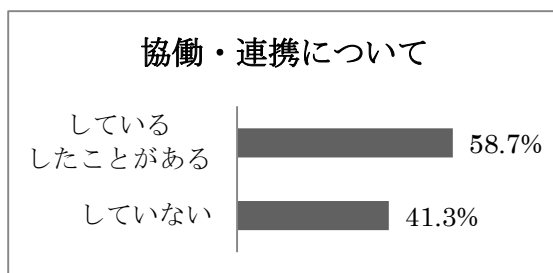
(3) 「会員の経済的負担が大きい」、「活動資金が不足している」理由としては「活動による収入が得られない」が最も多い。その他として「スタッフの人件費がかかる」、「材料費がかかる」などの回答がある（問 20）。





## 6. 協働について

(1) 協働・連携をしている、またはしたことがある団体は 50%を超えている。(問 21)



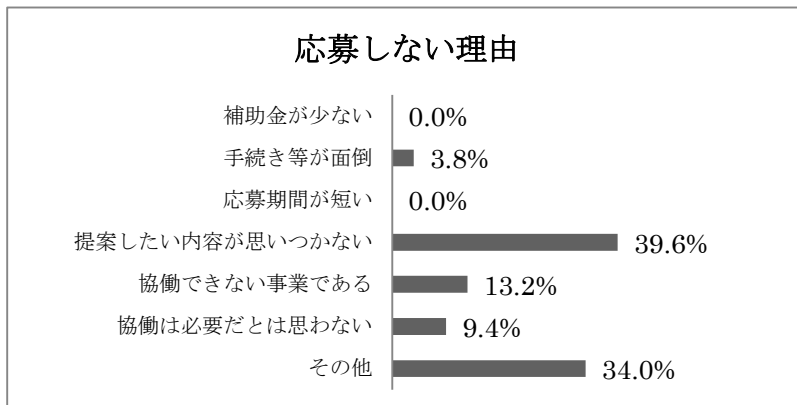
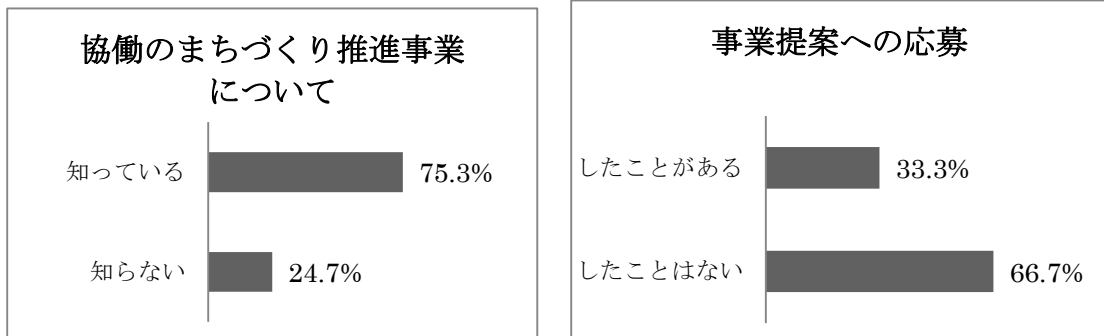
(2) 特につなぐりの深い団体（複数回答であるが多岐に渡っている）（問 22）

- ・埼玉県、上尾市、桶川市
- ・社会福祉協議会
- ・大正大学、千葉商科大学、聖学院大学
- ・上尾市内小学校
- ・武蔵逍遥乗馬会
- ・上尾法人会
- ・青少年育成連合会
- ・ボランティア連絡会
- ・上尾市視聴覚障害者協会
- ・自主防災連合会
- ・源氏物語を読む会
- ・みらいコープ
- ・三井区体育部
- ・彩の国いきがい大学、いきいき埼玉
- ・いきがい愛の会
- ・上尾中央病院、県立精神医療センター、赤城高原ホスピタル、済生会鴻巣病院
- ・上尾メディックス後援会
- ・上尾市国際交流協会
- ・ホットほっとタイムこども食堂
- ・アブセック
- ・上尾市文化団体連合会、埼玉県文化団体連合会
- ・ABCWC
- ・富士通研究所
- ・ほっとサロン、ユニバーサルカフェ
- ・さいたまNPOセンター
- ・新日本婦人の会上尾支部
- ・埼玉県被爆者団体協議会
- ・商工会議所
- ・荒川河川事務所
- ・いずみ高校
- ・上尾ライオンズクラブ
- ・上尾美術家協会
- ・地域活動推進の会
- ・町内会、自治会
- ・旧陸軍桶川飛行学校を語り継ぐ会
- ・上尾市区長会
- ・特定非営利活動法人なごみ
- ・上尾消費者団体連絡会
- ・青少年育成会
- ・上尾市観光協会
- ・上尾伊奈年金者組合
- ・年金者組合上尾支部
- ・荒川の自然を守る会
- ・NPOみのり
- ・でんでん虫
- ・いきいきクラブ
- ・上尾市レクリエーション連盟
- ・民謡さつき会
- ・子ども食堂とまと
- ・ReVA 復興ボランティアチーム
- ・ふるさと交友会
- ・上尾の図書館を考える会

- ・女性フォーラムあげお
- ・介護者支援の会あげお
- ・埼玉県平和運動センター
- ・NPO 法人彩の子ネットワーク
- ・まなびすと指導者バンク推進会議

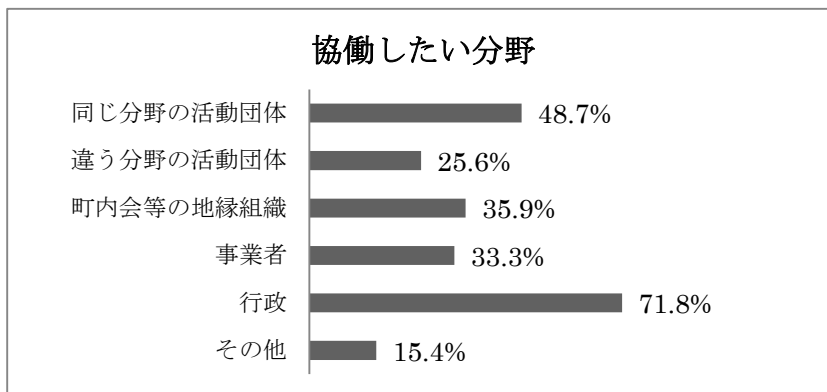
(3) 上尾市協働のまちづくり推進事業について (問 23 から問 25)

「知っている」と答えた登録団体は 75.3%、そのうち事業提案に応募したことがある団体が 33.3%である。事業提案に応募しない理由は「提案したい内容が思いつかない」が大半を占めている。その他の回答としては「現状で手一杯」、「計画と実行が担保できない」、「いつも同じ人間に負担がかかる」などである。



(4) 今後、活動する上で協働したい相手について (問 26 から問 27)

今後、活動する上で協働したい相手がいると回答した団体は 47.6%。協働したい分野は「行政」が一番多く、次いで「同じ分野の活動団体」である。協働したい分野については、行政相手が最も多くなっている。

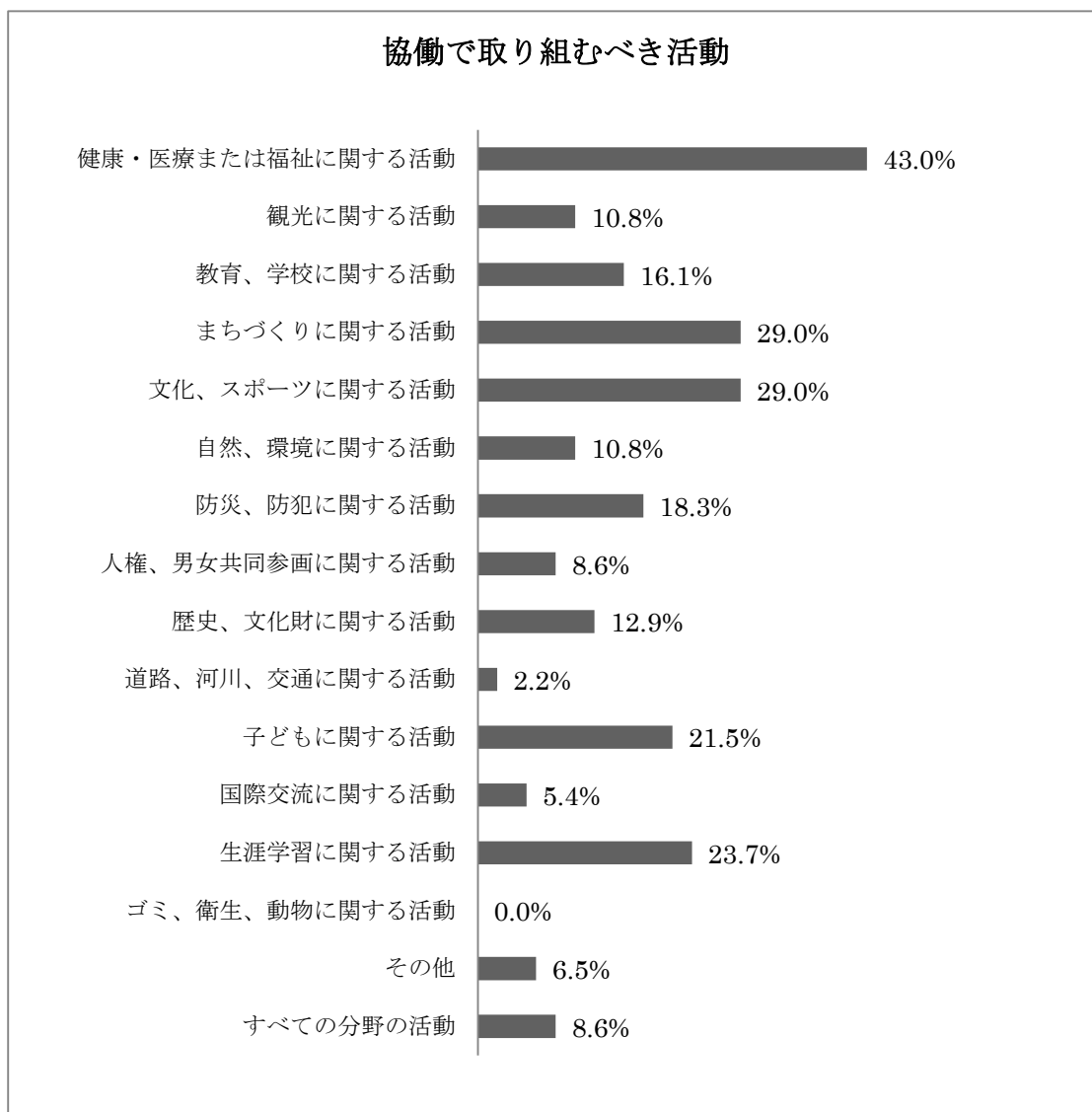


(5) 協働したい内容と協働先（自由回答とその組み合わせ）（問 28）

- ・ 中小企業支援、商店街活性化、子育て支援  
上尾ものづくり協同組合、市、商工会議所、商店街、企業 OB 団体  
彩の子ネットワーク
- ・ 講座開催・PR イベント開催  
事務区、市、上尾市特別支援学校、事業団あげお
- ・ 生活者視点の防災  
上尾市防災士協議会、手話通訳研究会、薬科大、上尾市消防本部
- ・ 地域の中で、子どもや子育てに関わる人をつくっていく  
町内会
- ・ 小中学生に上尾の歴史の良いところを紹介し、郷土愛を育成したい  
市、教育、文化、青少年育成などに関わる団体
- ・ 講習会の協働開催  
市、商工会議所
- ・ 文化芸術の推進  
市、上尾市文化団体連合会、埼玉県文化団体連合会
- ・ 地域活動の推進  
県、市町村
- ・ 税金の使い方改革について  
総合研究所
- ・ 自分の経験談を聞いてもらい本人、家族、解決策を探す  
医療機関、保健所、社会福祉、看護学校、高校、大学
- ・ 空き家の有効活用  
空き家の有効活用支援者
- ・ 日本文化の継承  
市
- ・ 中高生の悩みや社会問題について考える  
教育、文化、青少年育成などに関わる団体
- ・ 健康相談・食育  
市

## 7. 今後の計画への要望について（問 29）

（1）今後 5 年間で進める上尾市の市民活動や協働のまちづくりを推進するため、行政施策として協働で取り組むべき活動（複数回答）

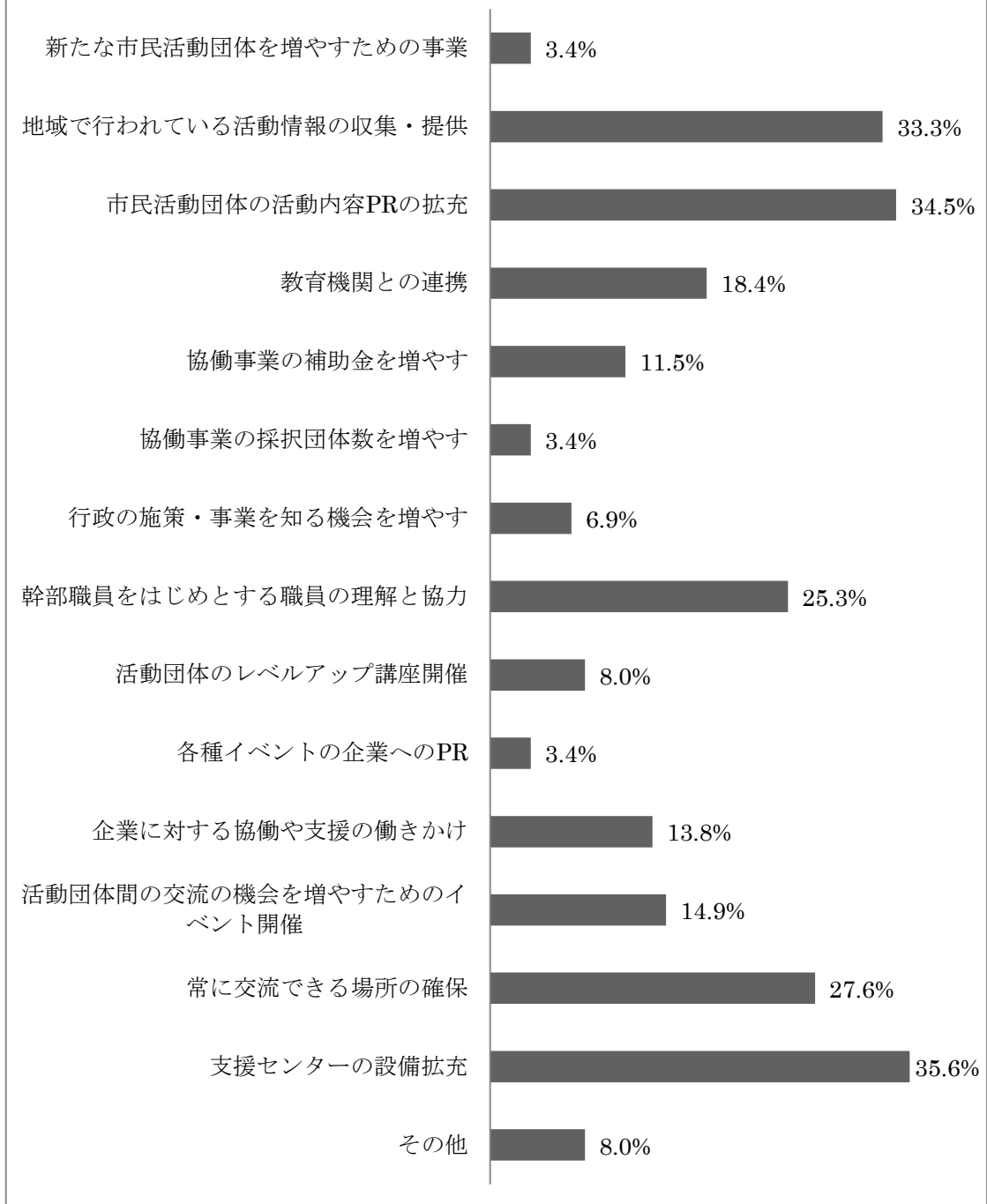


その他の回答

- ・中高生の市民活動
- ・高齢化世帯、一人世帯の生活互助活動
- ・高齢者の活用につながる活動
- ・金銭教育
- ・独居老人対策活動

（2）今後 5 年間で進める上尾市の市民活動や協働のまちづくりを推進するため、必要と考える行政の取り組み（複数回答）（問 30）

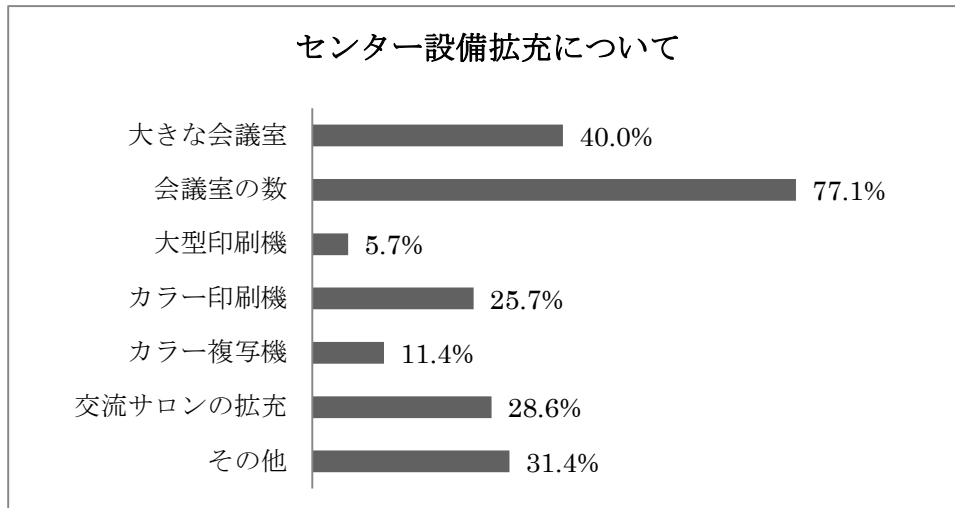
### 必要と考える行政の取り組み



#### その他の回答

- ・市民活動へ一般の方が興味を持てるような面白い企画と働きかけ
- ・活動団体と市役所、事業者による対話
- ・ネット環境の充実、優れた他市に学ぶ
- ・役所における横のつながりのネットワーク

(3) 市民活動支援センターの設備拡充として望むこと（複数回答）（問 31）



\* カラー複写機については平成 30 年 7 月 1 日に導入済み

(4) 活動団体相互の交流を図るために望むこと（問 32 の自由回答をまとめたもの）

- ・ 情報の共有、提供、相互協力の促進
- ・ 交流会やイベントの開催
- ・ 活動している団体等への登録働きかけ
- ・ 支援センターの駐車場を確保し、全室で交流イベントをする
- ・ 活動団体の代表者が年 1 回位交流できる機会があるとよい
- ・ ボランティア募集や情報発信ができるように支援センターのホームページを変える
- ・ 大きな会議室で自由に交流できるとよい
- ・ 支援センター主催のイベントや集まりがある時、参加することを目的に行動を起こすべき
- ・ 一般市民対象の活動団体発表会の開催（年 2 回程度）
- ・ 市民の交流や親睦事業に取り組んでほしい
- ・ PR 活動誌の拡充
- ・ 団体だけで実施するイベントを仕掛け、支援センターは調整せずやらせる
- ・ 広報あげおなど、各団体でもっと自由に活用できるようにする
- ・ 年間数回の活動内容発表会
- ・ 企業や高校、大学とコラボできるような相談会、PR のフェスティバル
- ・ 単に交流するだけではあまり意味がない

## 市民活動に関するアンケート調査結果（一般市民用）

### 1. 調査の目的と概要

市民活動支援センターでは、登録している市民活動団体の現状と要望を把握し、第3次上尾市市民活動推進計画に反映させることを目的として、活動登録団体を対象に平成30年2月にアンケートを実施したが、続いて一般市民へのアンケート調査を平成30年5月8日に行った。調査対象者は、市内に在住する満18歳から90歳までの市民384人。抽出は居住地区と年齢層の層化二段階無作為抽出法により、対象者を抽出した。返送による回答者は170人で回答率は44.3%となっている。

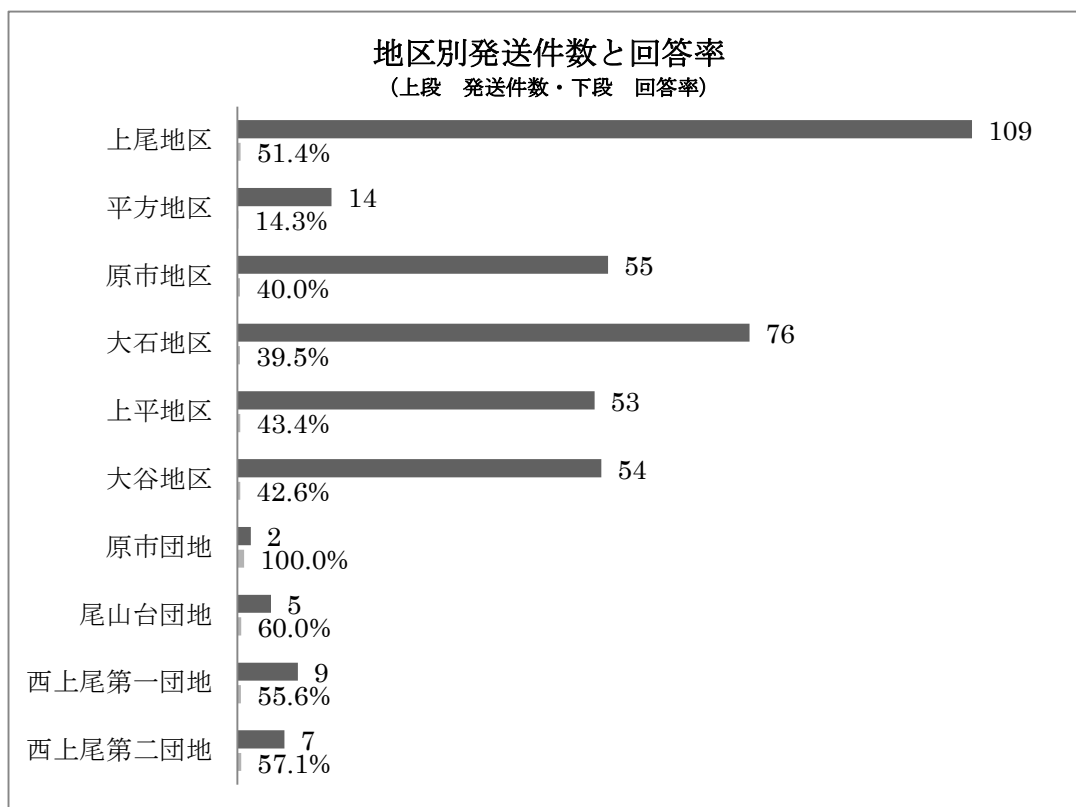
このアンケートは、市民の市民活動への意識調査を目的としたもので、活動への参加意欲や協働のまちづくり推進事業に関する設問を設けている。

### 2. 回答者の属性について（問1）

#### （1）対象者の男女比・地区別発送件数と回収率について

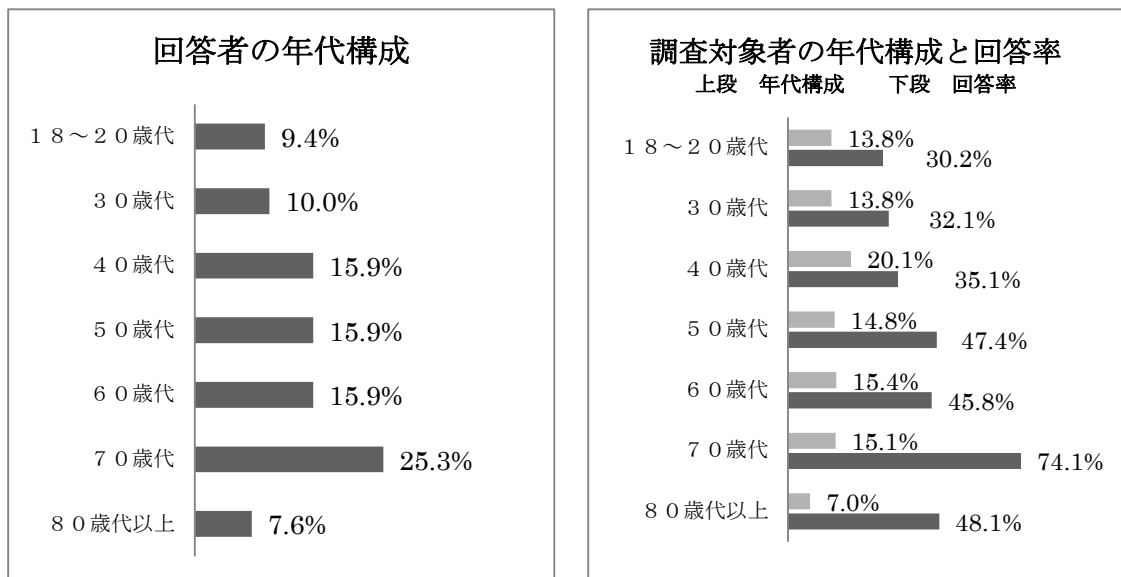
男性は192人、女性が192人と同人数とし、対象者が最も多く抽出されたのは上尾地区の109人、少ない対象者数となったのは原市団地の2人である。男女それぞれの回収率は、男性38.0%、女性が50.5%で、男性より女性の回答者が多い。

また、地区別の回収率は原市団地の100%に次いで、尾山台団地が60%、西上尾第二団地が57.1%となっている。



### (2) 年代構成について (問3)

回答者の年代で一番多かったのが70歳代で、次に60歳代、50歳代、40歳代が同数となっている。高齢者の回答が多い理由として、退職後、市民活動に関心が一番高くなる年代であることがうかがえる。

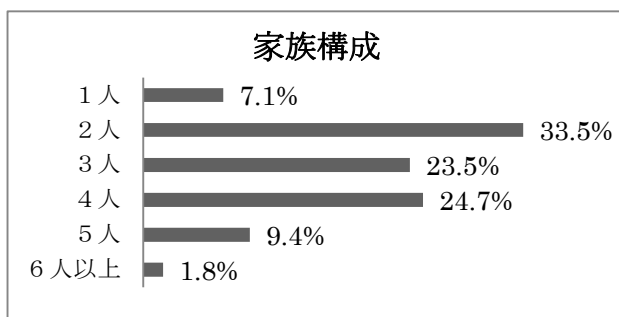


### (3) 家族構成について (問4)

2人世帯が33.5%と最も多く、次いで4人世帯が24.7%、3人世帯が23.5%、5人世帯が9.4%、1人世帯が7.1%、6人以上の世帯が1.8%である。平成27年国勢調査での上尾市の世帯別人口は、2人世帯が30.3%、1人世帯が27.9%、3人世帯が20.2%、4人世帯が16.1%、5人世帯が4.5%、6人以上の世帯が1.3%であり、比較すると同じような年代構成であるが、本調査では1人世帯の回答が少ない結果となっている。

問8の関連で、「市民活動に参加したい+引き続き参加したい」という回答をした人は43人いる。参加したいと答えた人の家族構成との関連では、43人の内訳として、2人世帯が48.8%、4人世帯が20.9%、3人世帯の18.6%となっていて、回答した家族構成の順と同じになったが、参加したいと答えた人の率は2人世帯が48.8%とやや高くなっている。1人世帯では外出しにくいと感じ、家族が多い世帯は外出しなくとも不自由を感じず、2人世帯が市民活動の必要性を一番感じているとも考えられる。



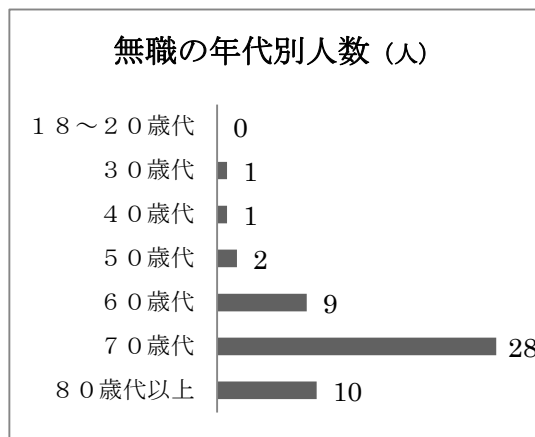
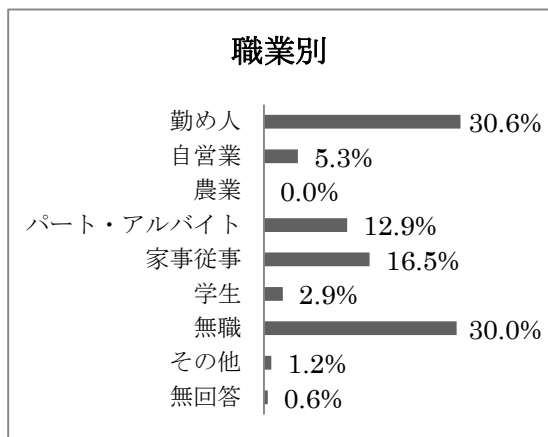


#### (4) 職業別について (問5)

勤め人が30.6%、無職が30%、次に家事従事の16.5%、パート・アルバイトが12.9%の割合である。

問8の関連で、市民活動に参加したい43人の職業は、無職が39.5%、勤め人の23.3%、家事従事の20.9%となり、勤め人が多いがこれは回答数が多かったため、職業別の参加意識は家事従事や自営業が参加の関心を持っていることが分かる。

また、回答した人の170人中51人が無職であるが、その年代を見ると、70歳代が28人(39%)、80歳以上が10人、60歳代が9人と92%が60歳以上の高齢者であることがわかる。



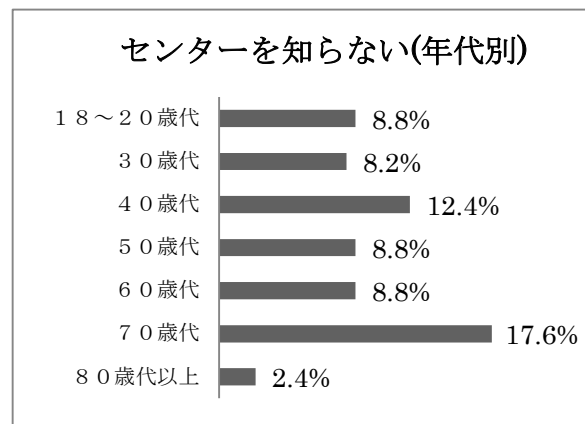
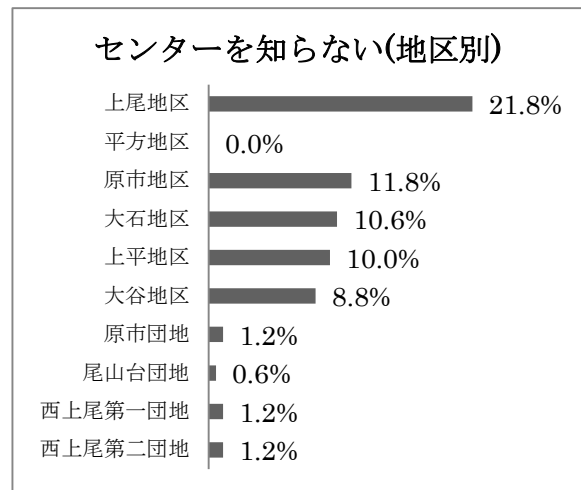
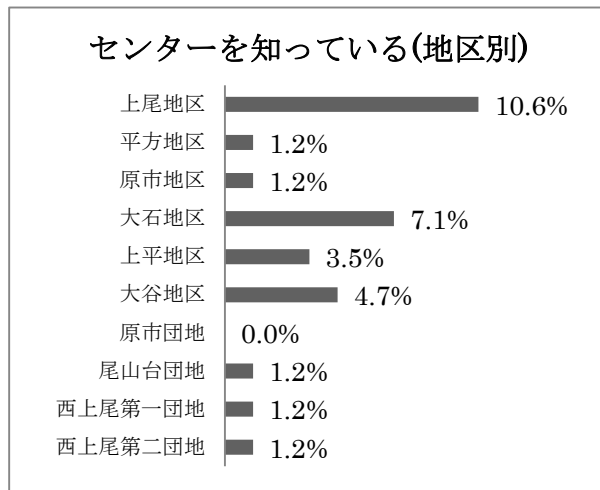
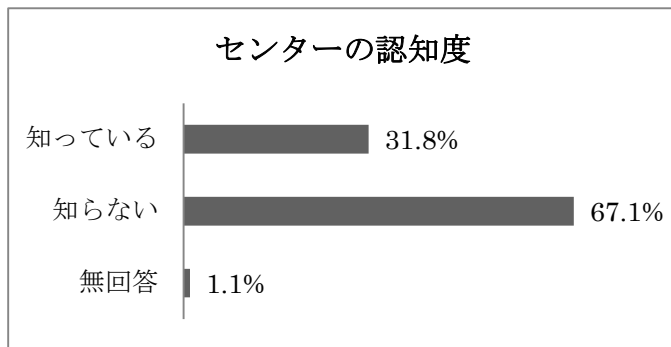
### 3. 市民活動について

#### (1) 市民活動支援センターの認知度 (問6)

H27年度広報あげおで市民活動支援センターの特集を掲載したが、本調査ではセンターを知っているが54人(31.8%)、知らない人は114人(67.1%)で、知らない人が約7割である。

問1との関連で、知らないと答えた人が一番多かった地域は、上尾地区で21.8%、人口が最も多いために、知っている人の数も上尾地区が一番多い。

問3との関連で、年代区分別では、市民活動をしている年齢が一番多い70歳代ではセンターを知っている人も多いが、知らない人の内訳でも70歳代がセンターを知らないと回答した人が多いのも特徴となっている。

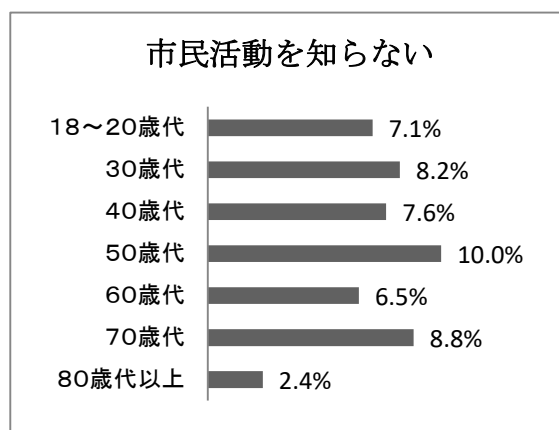
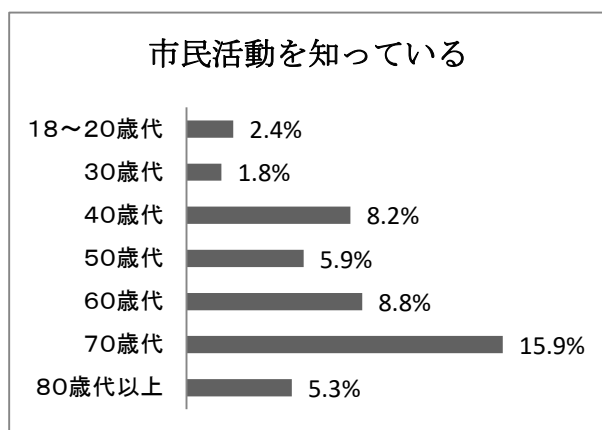
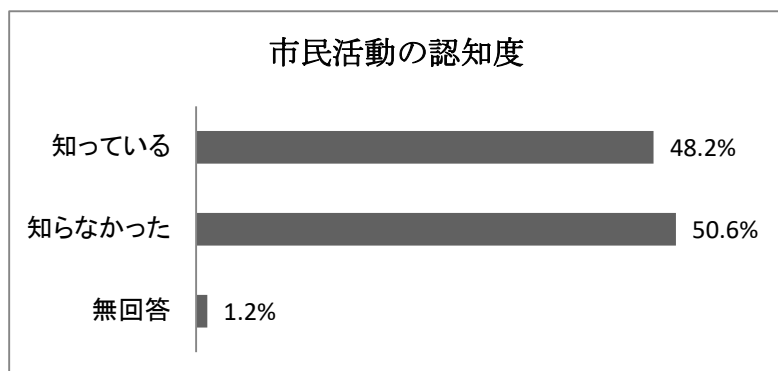


## (2) 市民活動についての認知度 (問7)

市民活動とはどのような活動か知っているかについて、「知っている」が82人(48.2%)、「知らなかった」が86人(50.6%)で、市民活動を知っている人と知らない人が半々の割合である。

問3との関連で、年代区分別では、市民活動を知っている年代は70歳代が15.9%と60歳代の8.8%を大きく上回っている。70歳代になり市民活動を知った人が多くなっている。

市民活動を知らないと答えた人は最も多いのが 50 歳代で 10%だが、18～20 歳代から 60 歳代までは概ね同数が知らないと回答していて、年代別の特徴は顕著ではない。

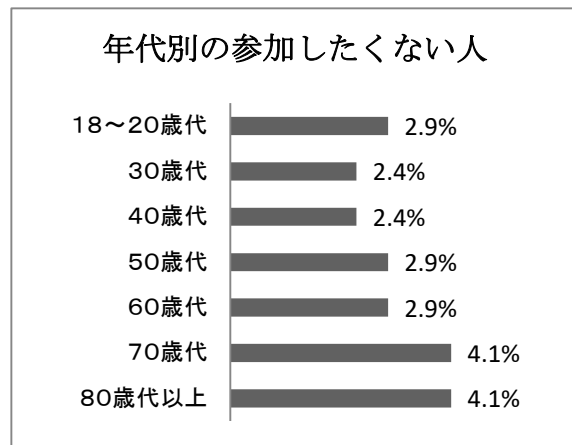
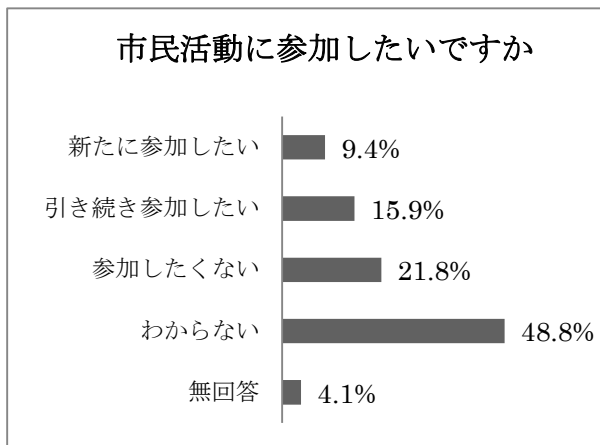


(3) 市民活動への参加について (問 8)

新たに参加したい 16 人 (9.4%)、引き続き参加したい 27 人 (15.9%) と計 43 人 (25.3%) が参加または参加希望を持っている。

参加したくない 37 人 (21.8%) と、分からない 83 人 (48.8%)、無回答 7 人 (4.1%) を含め参加希望なしが、127 (74.7%) と 3/4 が参加を希望していないことも分かる。

問 7 で市民活動については半数が理解しているものの、3/4 が市民活動に参加を希望していない実態がわかる。参加したくない人の年代区分は、70 歳代・80 歳以上を合わせて 8.2%だが、他の年代では 2%程度で、各年代でほぼ同数が参加したくない結果となっていて年代による特徴はつかめない。



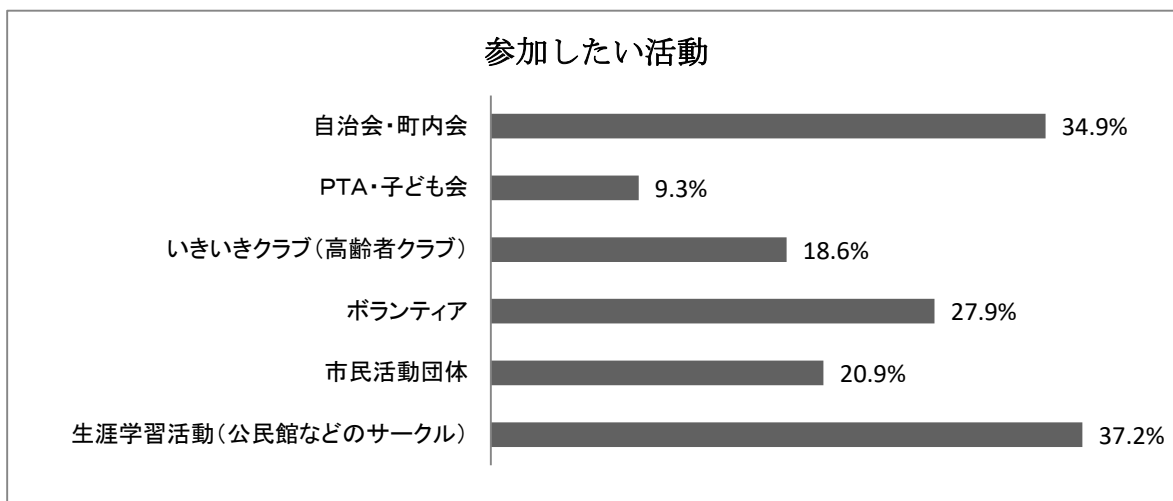
#### (4) 参加したい市民活動について (問9と問10)

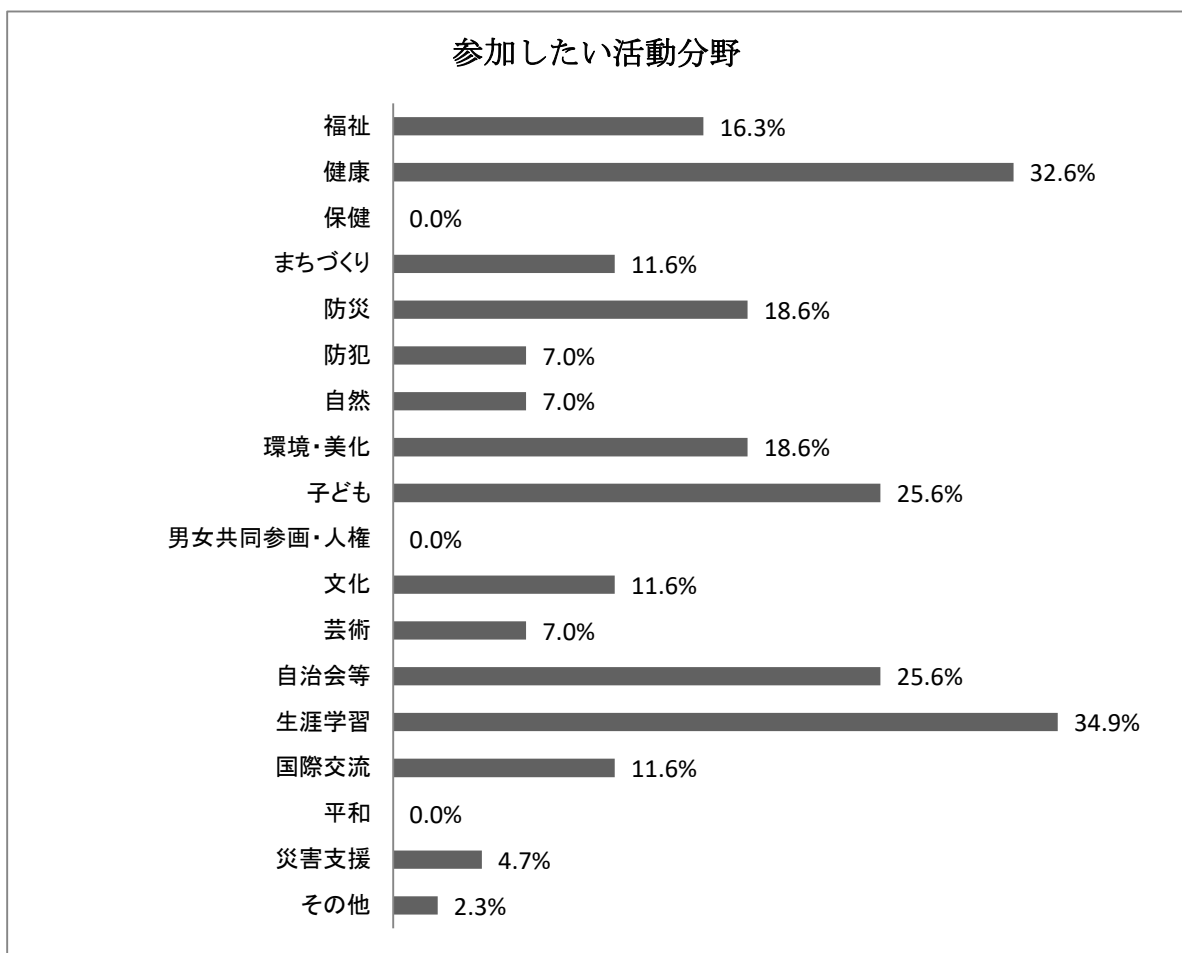
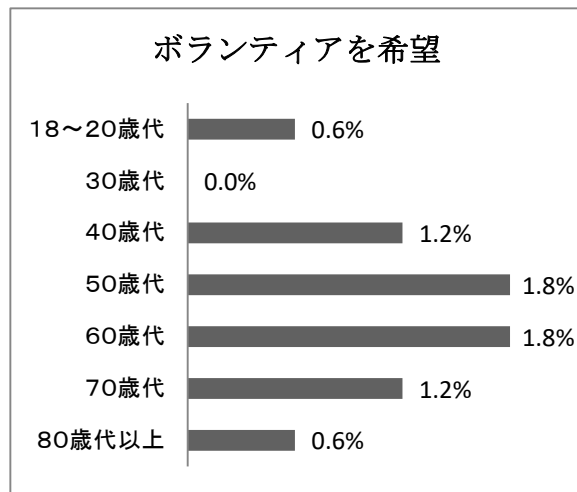
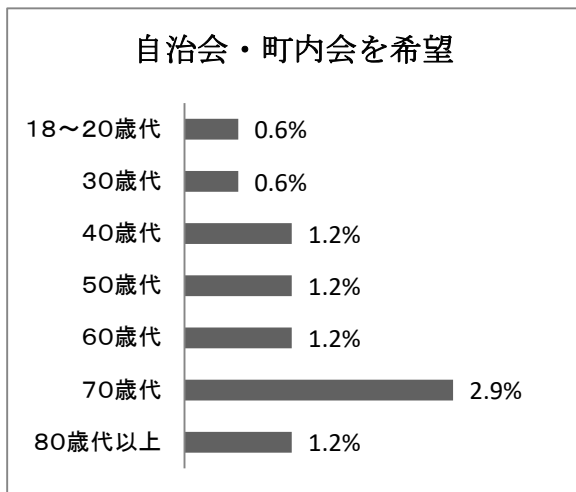
最も多い活動は「生涯学習活動」で16件(37.2%)、次いで「自治会・町内会」が15件(34.9%)、「ボランティア」12件(27.9%)、「市民活動団体」9件(20.9%)、「いきいきクラブ」が8件(18.6%)、「PTA子ども会」4件(9.3%)となる。

自治会・町内会と回答した人は70歳代が最も多く、自治会・町内会で活動している人は70歳代の人が多いという実態を反映している。

ボランティアの12件の年代区分では、50歳代、60歳代の人が多い。身近である自治会、町内会の地域活動が多い反面、PTAや子ども会の活動は最も低い順位となっている。

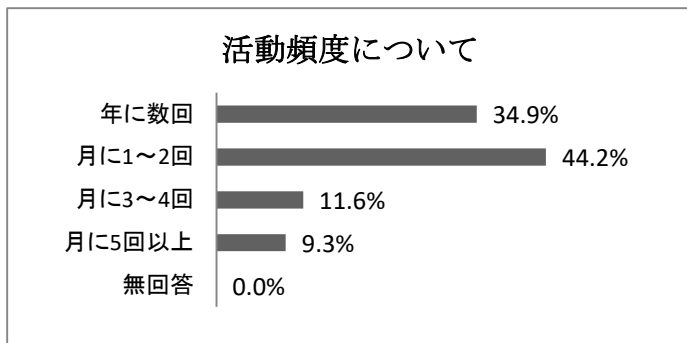
また、狭義の意味では市民活動に区分されない「生涯学習活動(公民館などのサークル)」の分野を希望する回答が最も多いことから、市民活動の理解がまだ進んでいないことがうかがえる。





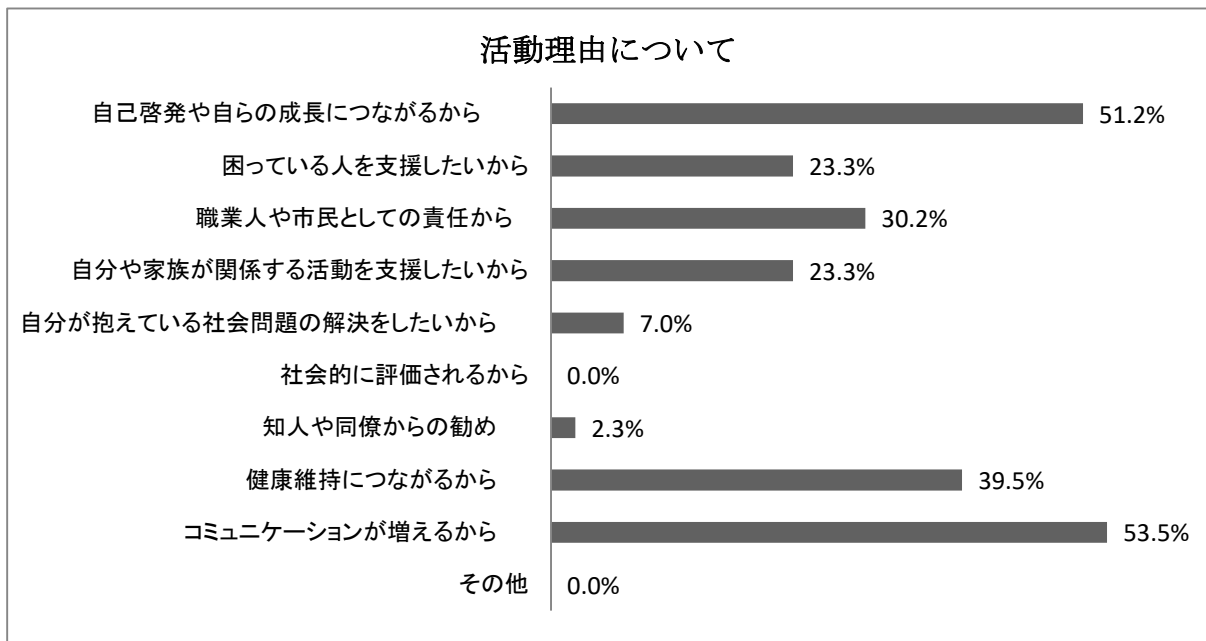
(5) 市民活動の活動頻度について (問 11)

多い順に、月に1～2回が19人(44.2%)、年に数回が15人(34.9%)、月に3～4回が5人(11.6%)、月に5回以上が4人(9.3%)である。



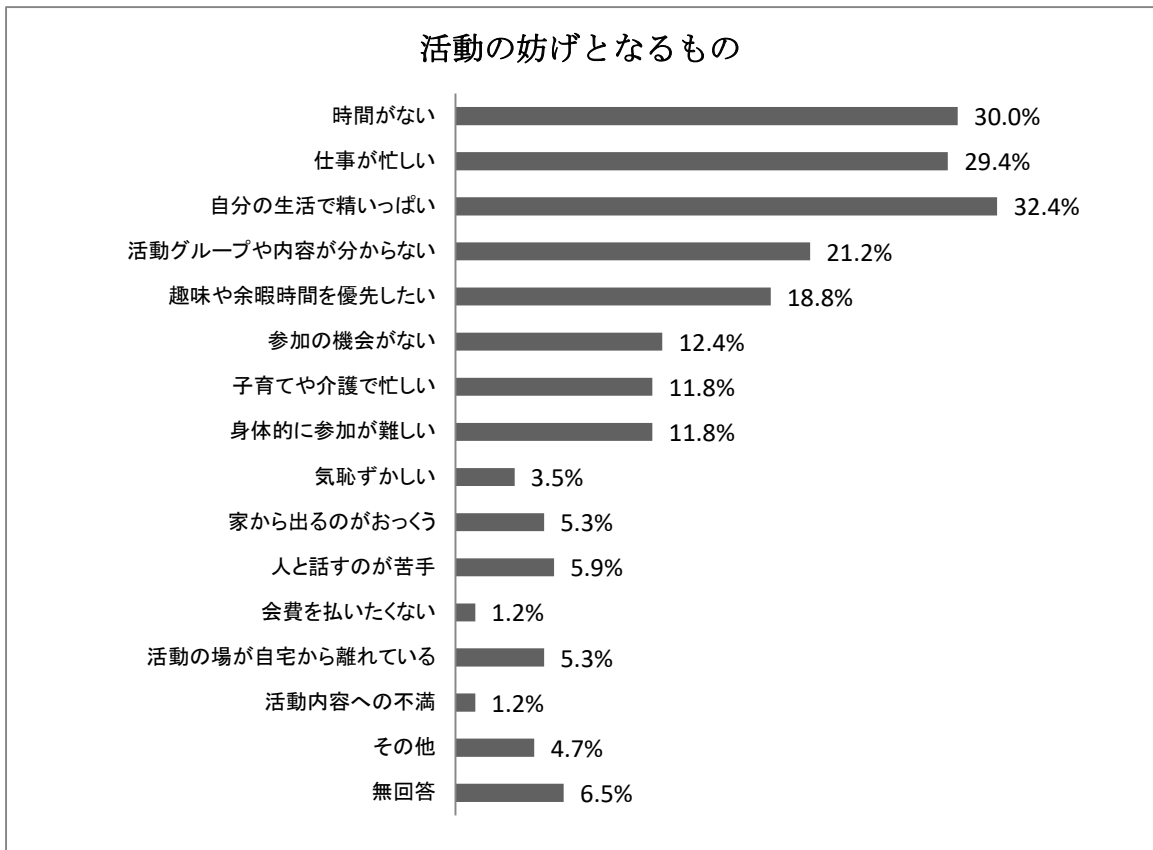
(6) 市民活動に参加する、参加したい理由について (問 12)

市民活動に新たに参加したい、引き続き参加したいと回答した 43 人について、活動を希望する理由として最も多いのは、「コミュニケーションが増えるから」が、23 件 (53.5%) で、次いで「自己啓発や自らの成長につなげたい」が 22 件 (51.2%)、「健康維持につながる」が 17 件 (39.5%)、「職業人や市民としての責任から」が 13 件 (30.2%)、「困っている人を支援したいから」、「自分や家族が関係する活移動を支援したいから」がそれぞれ 10 件 (23.3%) である。



(7) 市民活動の妨げになることについて (問 13)

最も多い理由は、「自分の生活で精いっぱい」が 55 件 (32.4%)、「時間がない」51 件 (30%)、「仕事が忙しい」50 件 (29.4%)、「活動グループや内容が分からない」36 件 (21.2%)、「趣味や余暇時間を優先したい」32 件 (18.8%)「参加の機会がない」21 件 (12.4%)、「子育てや介護で忙しい」20 件 (11.8%)、「身体的に参加が難しい」20 件 (11.8%)、などの理由が多くなっている。

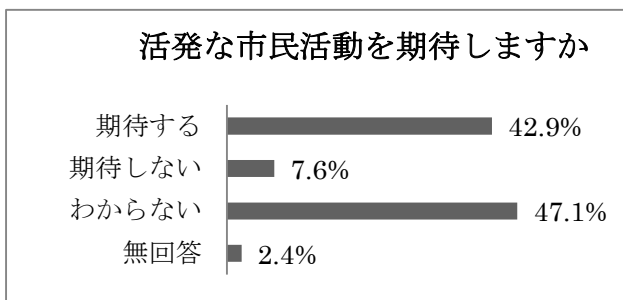


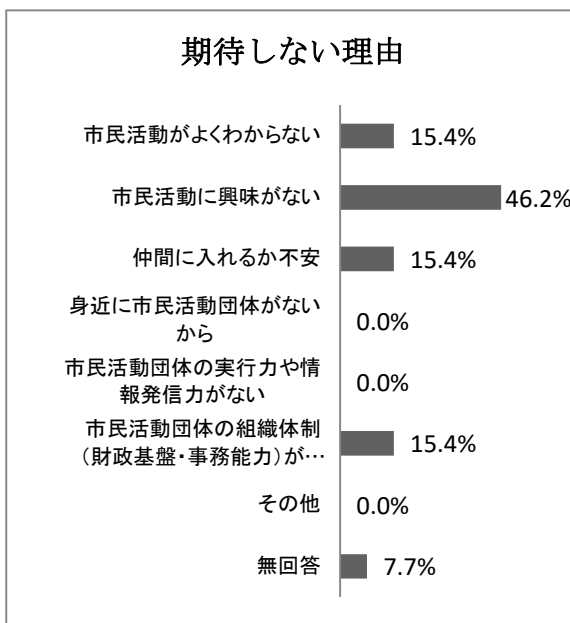
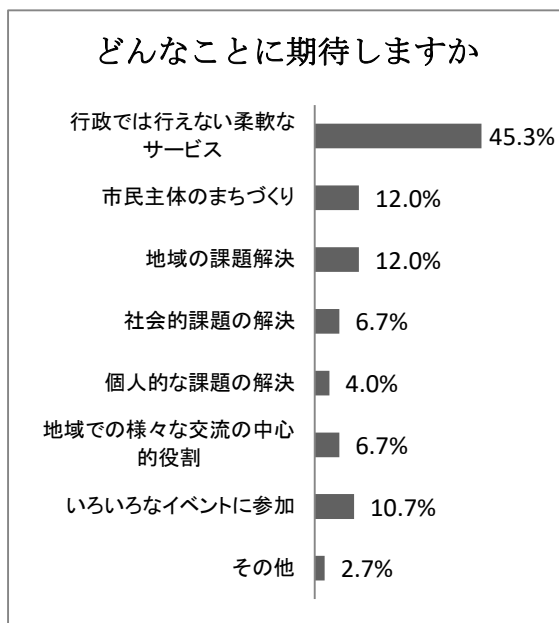
(8) 市民活動への期待度について (問 14 から問 16)

今よりも活発な活動を「期待する」が 73 人 (42.9%) で、これからの市民活動への期待値はやや低い。

「期待する」と答えた人の中で、「行政では行えない柔軟なサービスが期待できる」が 31 人 (45.3%) で最も多く、市民活動の必要性は理解されていることがうかがえる。次に「市民主体のまちづくりができ」が 9 人 (12%)、「地域の課題解決につながる」が 9 人 (12%)、いろいろなイベントに参加できるが 8 人 (10.7%) と続く。

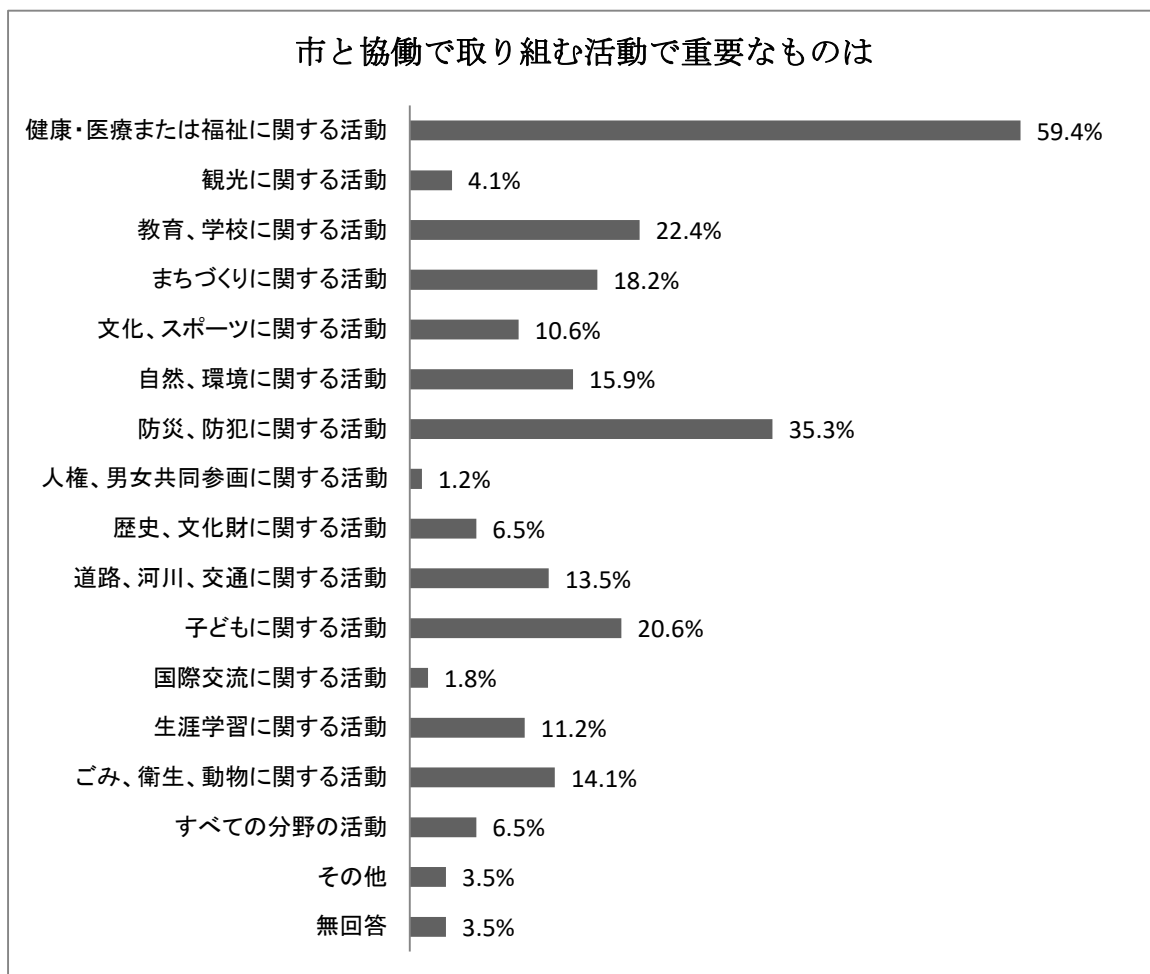
「期待しない」と答えた人の理由として最も多いのが「市民活動に興味がない」6 人 (46.2%)、「市民活動がよくわからない」2 人 (15.4%)、「仲間に入れるか不安」2 人 (15.4%)、「市民活動団体の組織体制が弱い」2 人 (15.4%) である。





(9) 今後5年間に、市と協働で取り組むべき活動について (問17)

多い順に、「健康・医療または福祉に関する活動」101件(59.4%)、「防災、防犯に関する活動」60件(35.3%)、「教育、学校に関する活動」38件(22.4%)、「子どもに関する活動」35件(20.6%)となっている。





平成30年2月16日  
上活セ第260号

市民活動団体代表者 様

上尾市長 畠山 稔  
(公印省略)

市民活動に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日頃から市政運営について、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、上尾市では第二次上尾市市民活動推進計画（平成26年度～平成30年度）に基づき、様々な取り組みを行ってまいりました。

本アンケート調査は、第三次上尾市市民活動推進計画（平成31年度～平成35年度）の策定に向け、登録市民活動団体の皆様の活動の現状・課題等をお聞かせいただき、計画の基礎資料とするとともに、上尾市が行う市民活動支援をより良い方向に進めるためにはどうしたらいいかを検討するために行うものです。

つきましては、調査票にご回答いただき、3月2日（金）までに同封している返信用封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、設問は6ページ32問でございます。およそ15分ほど時間をいただきますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、重ねてお願いいたします。

なお、お答えいただきました内容は、この目的以外に利用することはありません。

市民活動支援センター  
担当 大塚・山本・泉名  
電話 048-778-1810

## 市民活動に関するアンケート調査票（活動団体用）

### 《貴団体について》

【問1】団体名をご記入ください。

\_\_\_\_\_

【問2】活動年数を教えてください。

1. 3年未満      2. 3年以上5年未満      3. 5年以上10年未満  
4. 10年以上

【問3】会員数をご記入ください。（平成30年1月1日現在の人数）

\_\_\_\_\_人

【問4】会員の年齢構成と平均年齢を教えてください。

・年齢構成（あてはまるもの全てに○）

1. 20～30代    2. 40代    3. 50代    4. 60代    5. 70代  
6. 80代以上

・平均年齢 \_\_\_\_\_ 歳（小数点以下不要）

【問5】主たる活動分野は何ですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 福祉    2. 健康    3. 保健    4. まちづくり    5. 防災    6. 防犯  
7. 自然    8. 環境    9. 子ども    10. 男女共同参画    11. 文化  
12. 芸術    13. 自治会等    14. 生涯学習    15. 国際交流    16. 平和  
17. その他（                      ）

【問6】具体的な活動内容（今後の展望も含め）を教えてください。

【問7】活動頻度を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

\*会議、イベント、その準備等を含みます。

1. 週に1回程度      2. 週に2、3回程度      3. 月に1回程度  
4. 月に2、3回程度      5. 年に1、2回程度      6. その他（                      ）  
7. 活動していない      8. 解散予定である

【問8】市民活動支援センターに団体登録した一番の理由は何ですか。

（あてはまるもの1つに○）

1. 団体情報がPRできる    2. 会議室が利用できる    3. 印刷機が利用できる  
4. 活動相談    5. 助成金情報の取得    6. その他（                      ）

**【問 9】 市民活動支援センターの利用について教えてください。**

1. 会議室の利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
2. 作業室の利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
3. サロンの利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
4. PCの利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
5. 印刷機の利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
6. 複写機の利用について ( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
7. 公共施設予約システム端末の利用について  
( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)
8. その他備品の利用について( 年 ・ 月 ・ 週 に \_\_\_\_\_回程度)

**【問 10】 貴団体の活動で市民が参加できるイベントや利用できるサービス等がありましたらご記入ください。**

**【問 11】 あなたはどんなことをきっかけに市民活動・地域活動を始めましたか。簡単にお聞かせください。**

**《活動のPRについて》**

**【問 12】 貴団体で活動情報のPRは何を使用していますか。(あてはまるもの全てに○)**

1. チラシ・ポスター
2. 情報誌
3. 地域の回覧
4. 新聞広告
5. インターネット (a.ホームページ b.ブログ c.フェイスブック d.その他SNS)
6. テレビ・ラジオ
7. その他 ( )
8. 特にしていない

**【問 13】 貴団体の存在や活動内容は広く市民に周知されていると思いますか。**

(あてはまるもの1つに○)

1. 周知されていると思う
2. 周知が不足していると思う
3. わからない

**【問 14】 問 13で「2. 周知が不足している」を選んだ方にお伺いします。**

周知が不足している原因は何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

1. チラシ・ポスターを作成できない
2. インターネットの利用方法がわからない
3. 情報誌への掲載方法がわからない
4. 周知の必要性がない
5. その他 ( )

### 《活動の資金について》

【問15】年間の活動資金を教えてください。

年間 約 \_\_\_\_\_ 円

【問16】活動資金はどのように集めていますか。

(主なものに◎、他あてはまるもの全てに○)

1. 会費(月 \_\_\_\_\_ 円)
2. 活動事業収入
3. 行政からの補助金等
4. 寄付金
5. 民間からの助成金
6. その他( \_\_\_\_\_ )

【問17】主な活動経費を教えてください。(主なものに◎、他あてはまるもの全てに○)

1. チラシ等の印刷(紙代、印刷代)
2. 会報の印刷
3. 材料費等
4. 会議室の借上料
5. イベント会場の借上料
6. その他( \_\_\_\_\_ )

### 《活動の課題について》

【問18】貴団体が活動するうえで、現在抱えている課題は何ですか。

あてはまるものに○をしてください。(○は5つまで)

1. 新しいメンバーが増えない
2. 若い人の参加が少ない
3. 会員の高齢化が進んでいる
4. 役員のなり手がいない
5. 入ってきてすぐやめてしまう
6. 会員の労力や事務的負担が大きい
7. 会員の経済的負担が大きい
8. 活動資金が不足している
9. 活動を提供する場・機会が少ない
10. 活動拠点が確保できない
11. 活動に対する社会的評価が低い
12. 活動をPRする手段が少ない
13. 必要な知識を習得する機会がない
14. 他の団体との情報交換の機会がない
15. 会計等運営方法がよくわからない
16. 無給、無償でやりがいがない
17. 相談できる相手がいらない
18. 今のところ課題や悩みはない
19. その他( \_\_\_\_\_ )

【問19】問18の課題を解決するために、どんなことがあると思いますか。

ご記入ください。(箇条書きで簡潔に)

【問20】問18で「7. 会員の経済的負担が大きい」「8. 活動資金が不足している」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 会費が高い
2. 講座・講演会のための準備費用に経費がかかる
3. 活動する場所の使用料がかかる
4. 活動による収入が得られない
5. PRにお金がかかる
6. その他( \_\_\_\_\_ )

《協働について》

【問 2 1】活動の中で、現在、協働・連携をしている、または、したことがある団体等がありますか。(どちらかに○)

1. ある            2. ない

【問 2 2】問 2 1で「2. ある」を選んだ方、団体の数と特につなぐりの深い団体を3つまで記入してください。(「団体」は、市民活動団体以外に、自治会、ボランティア、市民活動支援センター、行政組織、事業者、大学なども含みます。)

連携している 団体の数	団体	連携している 団体等の名称	①
			②
			③

【問 2 3】上尾市協働のまちづくり推進事業をご存じですか。(どちらかに○)

1. 知っている            2. 知らない

【問 2 4】問 2 3で「1. 知っている」を選んだ方にお伺いします。  
事業提案に応募したことがありますか。(どちらかに○)

1. ある            2. ない

【問 2 5】問 2 4で「2. ない」を選んだ方にお伺いします。

応募しない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 補助金が少ない            2. 手続き等が面倒            3. 応募期間が短い  
4. 提案したい内容が思いつかない            5. 協働できない活動である  
6. 協働は必要だとは思わない            7. その他(            )

【問 2 6】今後、貴団体で活動する上で協働したい相手はありますか。(どちらかに○)

1. ある            2. ない

【問 2 7】問 2 6で「1. ある」を選んだ方にお伺いします。

どんな分野の相手と協働したいですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 同じ分野の活動団体    2. 違う分野の活動団体    3. 町内会等の地縁組織  
4. 事業者    5. 行政    6. その他(            )

【問 2 8】問 2 6で「1. ある」を選んだ方にお伺いします。

協働したい内容と相手の団体名を教えてください。

<①内容>

<②相手の団体名>

《今後の計画への要望について》

**【問 29】** 今後、5年間で進める上尾市の市民活動や協働のまちづくりを推進するため、行政施策として協働で取り組むべき活動は何が重要と思いますか。(○は3つまで)

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 健康・医療または福祉に関する活動             | 2. 観光に関する活動        |
| 3. 教育、学校に関する活動                  | 4. まちづくりに関する活動     |
| 5. 文化、スポーツに関する活動                | 6. 自然、環境に関する活動     |
| 7. 防災、防犯に関する活動                  | 8. 人権、男女共同参画に関する活動 |
| 9. 歴史、文化財に関する活動                 | 10. 道路、河川、交通に関する活動 |
| 11. 子どもに関する活動                   | 12. 国際交流に関する活動     |
| 13. 生涯学習に関する活動                  | 14. ごみ、衛生、動物に関する活動 |
| 15. その他（                      ） | 16. すべての分野の活動      |

**【問 30】** 今後、5年間で進める上尾市の市民活動や協働のまちづくりを推進するため、行政の取組として、どのようなことが必要と考えますか。(○は3つまで)

1. 新たな市民活動団体を増やすための事業
2. 地域で行われている活動情報の収集・提供
3. 市民活動団体の活動内容 PR の拡充
4. 教育機関との連携
5. 協働事業の補助金を増やす
6. 協働事業の採択団体数を増やす
7. 行政の施策・事業を知る機会を作る
8. 幹部職員をはじめとする職員の理解と協力
9. 活動団体のレベルアップ講座開催
10. 各種イベントの企業へのPR
11. 企業に対する協働や支援（寄附など）の働きかけ
12. 活動団体間の交流の機会を増やすためのイベント開催
13. 常に交流できる場所の確保
14. 支援センターの設備拡充
15. その他（                      ）

**【問3 1】問3 0で「14. 支援センターの設備拡充」を選んだ方にお伺いします。**

**どんな拡充を望みますか。(あてはまるもの全てに○)**

1. 大きな会議室 2. 会議室の数 3. 大型印刷機 4. カラー印刷機  
5. カラー複写機 6. 交流サロンの拡大 7. その他（                  ）

**【問3 2】活動団体相互の交流を図るためにどんなことを望みますか。ご記入ください。**

--

※ご協力ありがとうございました。ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてお送りください。

平成30年5月8日  
上活セ第51号

市民の皆様

上尾市長 畠山 稔  
(公印省略)

市民活動に関するアンケート調査へのご協力のお願い

日頃から市政運営について、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
さて、上尾市では第二次上尾市市民活動推進計画（平成26年度～平成30年度）に基づき、地域での市民活動、活動団体の社会貢献など様々な取り組みを行ってまいりました。

本アンケート調査は、第三次上尾市市民活動推進計画（平成31年度～平成35年度）の策定に向け、市民の方が、市民活動や協働事業についてどのような考え方をお持ちかをお聞かせいただき、計画の基礎資料とするとともに、上尾市が行う市民活動支援をより良い方向に進めるためにはどうしたらいいかを検討するために行うものです。

つきましては、調査票にご回答いただき、5月22日（火）までに同封している返信用封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、設問は3ページ17問でございます。およそ6～7分ほど時間をいただきますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、重ねてお願いいたします。

なお、お答えいただきました内容は、この目的以外に利用することはありません。

市民活動支援センター  
担当 大塚・山本・泉名  
電話 048-778-1810



## 市民活動に関するアンケート調査票（一般市民用）

### 《 1. 回答者の属性について 》

【問1】 あなたが住んでいる地域はどこですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 上尾地区 2. 平方地区 3. 原市地区 4. 大石地区 5. 上平地区  
6. 大谷地区 7. 原市団地 8. 尾山台団地 9. 西上尾第一団地  
10. 西上尾第二団地

※わからない場合は住所の町名（本町、中妻、栄町、小敷谷など）を□に記入してください。

⇒上尾市 （番地は省略）

【問2】 あなたの性別を教えてください。（どちらかに○）

1. 男 2. 女

【問3】 あなたの年齢を教えてください。（平成30年1月1日現在）

（あてはまるもの1つに○）

1. 18～20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代  
5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳代以上

【問4】 あなたを含めた家族構成は何人ですか（あてはまるものに○）

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

【問5】 あなたの職業を教えてください。

1. 勤め人 2. 自営業 3. 農業 4. パート・アルバイト 5. 家事従事  
6. 学生 7. 無職 8. その他

### 《 2. 市民活動について 》

【問6】 上尾駅東口にある「市民活動支援センター」をご存知ですか。（どちらかに○）

1. はい 2. いいえ

【問7】 市民活動についてご存知ですか。（あてはまるものに○）

※市民活動とは、

営利を目的としない市民の自主的・主体的な社会貢献活動のことです。  
現在、上尾市では福祉・子育て・まちづくりなど様々な分野の活動団体が195  
団体登録されています。このほか、広い意味では地域活動としての自治会・町内  
会活動やPTA・子ども会活動、ボランティア活動なども含まれます。

1. 知っている
2. 知らなかった

**【問8】あなたは、今後、(新たに、または、引き続き)市民活動に参加したいと  
思いますか。(あてはまるものに○)**

1. 新たに参加したい
2. 引き続き参加したい
3. 参加したくない
4. わからない

※(3・4を選んだ方 ⇒【問13】へ)

**【問9】【問8】で「1. 新たに参加したい 2. 引き続き参加したいを選んだ方」  
にお聞きします。市民活動についてどのような活動に参加したいですか。  
(あてはまるものに○)**

1. 自治会・町内会
2. PTA・子ども会
3. いきいきクラブ(高齢クラ  
ブ)
4. ボランティア
5. 市民活動団体
6. 生涯学習活動(公民館な  
どのサークル)

**【問10】【問9】で選んだ活動したい分野はどれですか。(あてはまるものに3つ  
まで○)**

1. 福祉
2. 健康
3. 保健
4. まちづくり
5. 防災
6. 防犯
7. 自然
8. 環境・美化
9. 子ども
10. 男女共同参画・人権
11. 文化
12. 芸術
13. 自治会等
14. 生涯学習
15. 国際交流
16. 平和
17. 災害支援
18. その他( )

**【問11】【問9】で選んだ活動にどれくらいの頻度で参加したい、または参加し  
ていますか。(あてはまるものに○)**

1. 年に数回
2. 月に1~2回
3. 月に3~4回
4. 月に5回以上

**【問12】【問8】で「1. 新たに参加したい 2. 引き続き参加したいを選んだ方  
で、市民活動に参加する理由はどんなことですか。(あてはまるもの3  
つまで○を)**

1. 自己啓発や自らの成長につながるから
2. 困っている人を支援したいから
3. 職業人や市民としての責任から
4. 自分や家族が関係する活動を支援したいから
5. 自分が抱えている社会問題の解決をしたいから
6. 社会的に評価されるから
7. 知人や同僚からの勧め
8. 健康維持につながるから
9. コミュニケーションが増えるから
10. その他（ ）

**【問13】市民活動に参加する妨げになることは何ですか。(あてはまるもの3つまで○を)**

1. 時間がない
2. 仕事が忙しい
3. 自分の生活で精いっぱい
4. 活動グループや内容が分からない
5. 趣味や余暇時間を優先したい
6. 参加の機会がない
7. 子育てや介護で忙しい
8. 身体的に参加が難しい
9. 気恥ずかしい
10. 家から出るのがおっくう
11. 人と話すのが苦手
12. 会費を払いたくない
13. 活動の場が自宅から離れている
14. 活動内容への不満
15. その他（ ）

**【問14】今よりも活発な市民活動を期待しますか。(あてはまるもの1つに○)**

1. 期待する
2. 期待しない
3. わからない

**【問15】【問14】で「1. 期待する」と答えた方、どんなことに期待しますか。(あてはまるもの1つに○)**

1. 行政では行えない柔軟なサービス
2. 市民主体のまちづくり
3. 地域の課題解決
4. 社会的課題の解決
5. 個人的な課題の解決
6. 地域での様々な交流の中心的役割
7. いろいろなイベントに参加
8. その他（ ）

**【問16】【問14】で「2. 期待しない」と答えた方、その理由はなんですか。(あてはまるもの1つに○)**

1. 市民活動がよくわからない
2. 市民活動に興味がない
3. 仲間に入れるか不安
4. 身近に市民活動団体がない
5. 市民活動団体の実行力や情報発信力がないから
6. 市民活動団体の組織体制(財政基盤・事務能力)が弱いから
7. その他（ ）

**【問17】今後、5年間で進める上尾市の市民活動や協働のまちづくりを推進するため、市と協働で取り組むべき活動は何が重要と思いますか。(〇は3つまで)**

※協働のまちづくりとは、

市の施策として市民活動団体と行政がいろいろな分野のまちづくりに協働で取り組むことを言います。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 健康・医療または福祉に関する活動 | 2. 観光に関する活動        |
| 3. 教育、学校に関する活動      | 4. まちづくりに関する活動     |
| 5. 文化、スポーツに関する活動    | 6. 自然、環境に関する活動     |
| 7. 防災、防犯に関する活動      | 8. 人権、男女共同参画に関する活動 |
| 9. 歴史、文化財に関する活動     | 10. 道路、河川、交通に関する活動 |
| 11. 子どもに関する活動       | 12. 国際交流に関する活動     |
| 13. 生涯学習に関する活動      | 14. ごみ、衛生、動物に関する活動 |
| 15. すべての分野の活動       | 16. その他( )         |

※ ご協力ありがとうございました。ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてお送りください。

## 第3次上尾市市民活動推進計画

2019年（平成31年）3月

発行 上尾市

編集 上尾市市民活動支援センター

〒362-0075 上尾市柏座1-1-15（プラザ館3F）

電話 048-778-1810

FAX 048-778-1820

E-mail [s53500@city.ageo.lg.jp](mailto:s53500@city.ageo.lg.jp)